

令和4(2022)年度公開講義のご案内

本学では令和4(2022)年度の客員教授としてオーストリア科学アカデミー研究員の Anne MacDonald 先生をお迎えすることとなりました。

先生は、近年、インド中観思想、とくにナーガールジュナ(龍樹)およびチャンドラキールティ(月称)の主要著作に関するテキスト校訂、ならびに思想研究の分野できわめて貢献度の高い研究成果を公にしています。とくに2015年には、チャンドラキールティ作『ブラサンナパダー(明句論)』の最重要章として知られる第1「縁の考察」章に関する校訂テキストと詳細な訳注研究を出版し、最先端の写本研究にもとづく画期的な研究成果として高く評価されています。また、近年は同じチャンドラキールティの主著『入中論』のサンスクリット語写本に基づくテキスト校訂および訳注研究を着実に進め、近い将来の全体的な刊行が待たれています。

先生の講義は、下記の日程で開講されますが、公開といたしますので、聴講をご希望の方は本学事務局教務・学生課までお申し込み下さい。

- 客員教授: Anne MacDonald (オーストリア科学アカデミー研究員)
- 講義題目: The Profound Dependent-Arising
- 講義内容: The concept of “dependent-arising” (Pāli *paṭiccasamuppāda*; Skt. *pratītyasamutpāda*; Tib. *rten cing ’brel bar ’byung ba*) occurs in early canonical Buddhist works primarily in connection with a 12-linked, less often a 10-linked, stereotypical formula that was understood as an analysis of rebirth and its causes. Later developments, specifically in the Abhidharma schools, broadened the scope of dependent-arising to include the external world: it was explained that all things depend on causes and conditions inasmuch as they come into being in reliance on these. Madhyamaka scholars utilized the earlier expositions on dependent-arising when speaking about the everyday level of reality (*saṃvṛtisatya*), but in discourses on ultimate reality (*paramārthasatya*), they set forth a radical reinterpretation of the law of dependent-arising, one which in the end denied the true reality of the things accepted on the everyday level. The course will primarily focus on Nāgārjuna’s and Candrakīrti’s views on the topic.
- 講義計画:
 1. Introduction
 2. Continuation of Introduction; Dependent-arising in the Pāli Canon
 3. Dependent-arising in Conservative Buddhism
 4. Reading MMK 4 (*kārikās* only)
 5. Reading MMK 4 (*kārikās* only)
 6. Reading MMK 5 (*kārikās* only)
 7. Introduction to MABh, Reading MABh
 8. Reading MABh
 9. Reading MABh
 10. Reading MABh
 11. Reading MABh
 12. Reading MABh
 13. Reading MABh
 14. Reading MABh
 15. Reading MABh and Concluding Remarks

※講義は、英語で行います。

- 期 間: 令和4(2022)年10月11日(火)～ 12月13日(火)
- 会 場: 本学春日講堂
- 定 員: 50名
- 聴講料: 無料
- お申し込み・お問い合わせ先:

電話、FAX、またはE-mailで、住所、氏名、電話番号、所属機関名および希望される受講日、時限等をお知らせのうえ、令和4(2022)年10月7日(金)までに下記宛にお申し込みください。

〒112-0003 東京都文京区春日 2-8-9 国際仏教学大学院大学事務局 教務・学生課
電話: 03-5981-5271 FAX: 03-5981-5283 E-mail: student@icabs.ac.jp

※定員になり次第、締め切りといたします。

※時間割は、別紙を参照してください。

※時間割、会場は、事情により変更になることがあります。

令和4（2022）年度 公開講義（南・東南アジア仏教文献学演習）時間割

[令和4（2022）年10月11日（火）～12月13日（火）]

客員教授: Anne MacDonald（オーストリア科学アカデミー研究員）

10月 October						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						/
2	3	4	5	6	7	8
/						/
9	10	11	12	13	14	15
/	/	① 3時限目				/
16	17	18	19	20	21	22
/		② 3時限目 ③ 4時限目				/
23	24	25	26	27	28	29
/		④ 3時限目 ⑤ 4時限目				/
30	31					
/						
11月 November						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				/		/
6	7	8	9	10	11	12
/		⑥ 3時限目 ⑦ 4時限目				/
13	14	15	16	17	18	19
/		⑧ 3時限目 ⑨ 4時限目				/
20	21	22	23	24	25	26
/			/			/
27	28	29	30			
/		⑩ 3時限目 ⑪ 4時限目				

12月 December						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
		⑫ 3時限目 ⑬ 4時限目				
11	12	13	14	15	16	17
		⑭ 3時限目 ⑮ 4時限目				
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

この時間割は、事情により変更することがあります。

国際仏教学大学院大学

祝日 (10月～11月)

10月10日 (月) スポーツの日

11月 3日 (木) 文化の日

11月23日 (水) 勤労感謝の日

時限

3時限目 13:00-14:30

4時限目 14:40-16:10